



不正使用対策・PCIDSSセキュリティセミナー2018 (抜粋資料)

対面加盟店向けクレジットカード セキュリティ対策のご紹介

ネットムーブ株式会社
山岡 幸徳
2018/9/20,21





社名 **ネットムーブ株式会社**
(英文社名: Netmove Corporation)

設立 **2000年2月**

代表取締役 **澤田 富仁**(さわだ とみひと)

本社所在地 〒102-0083
**東京都千代田区六番町6
勝永六番町ビル 3F**

URL <http://www.netmove.co.jp>

資本金 **1億円**

売上高 2017年度 23億98百万円
(取扱高) (1,401億44百万円)



決済サービス

- 決済センタ提供年数: 17年
- 対面/非対面取引のサービス提供
- PCI DSS v3.2 取得
- PCI P2PE v2.0 取得

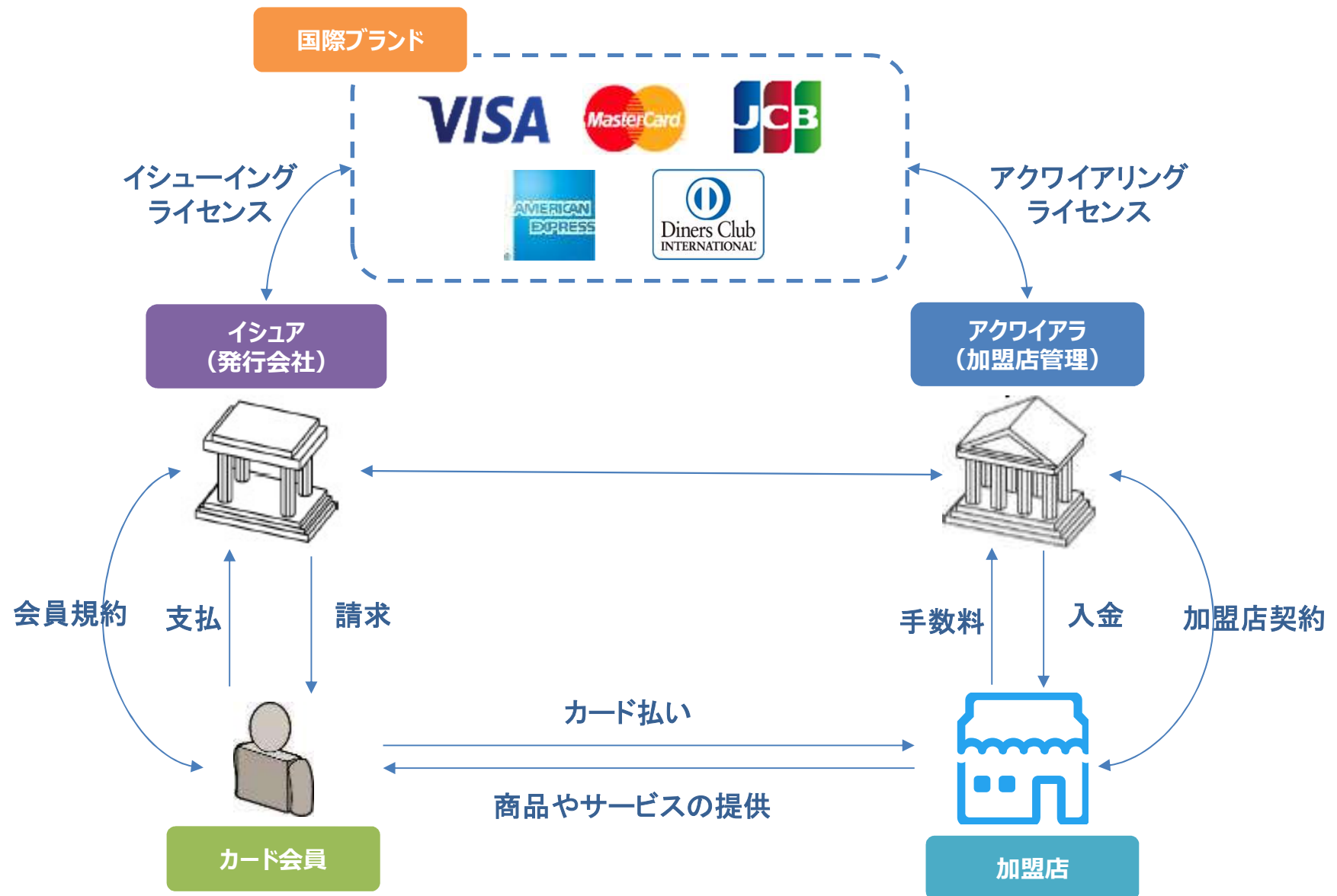


セキュリティサービス

- 金融機関様を中心にSaAT(サート) シリーズを提供
- SaAT Netizen: PC マルウェア対策
- Secure Starter: モバイルセキュリティ



カード決済の流れ



一般社団法人日本クレジット協会を事務局とし、クレジット取引に関わる事業者及び経済産業省が参画し「クレジット取引セキュリティ対策協議会」が発足

クレジットカード取引における セキュリティ対策の強化に向けた実行計画 —2018—

クレジット取引セキュリティ対策協議会

※2018年3月発表

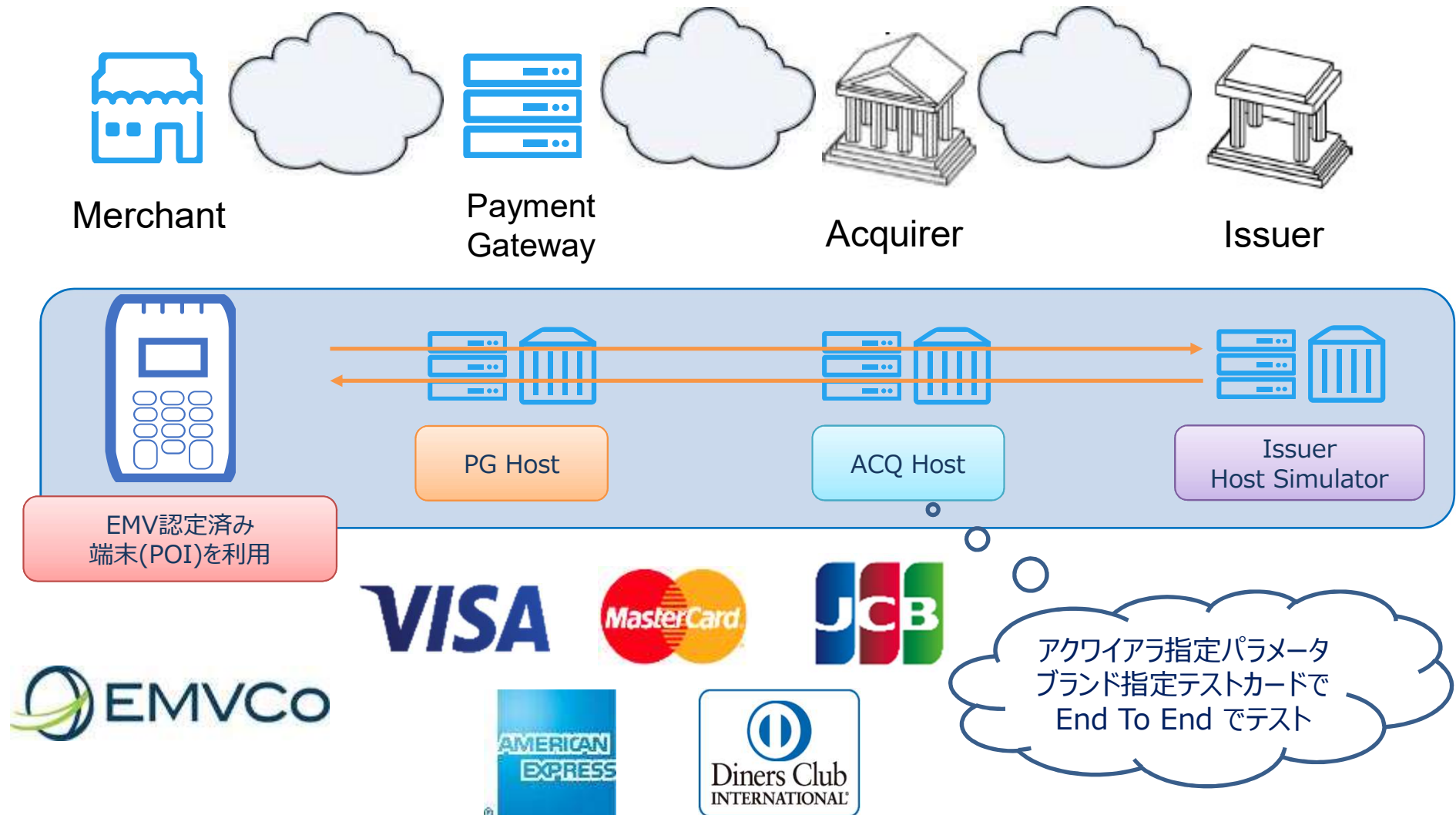


「実行計画」における対策の3本柱

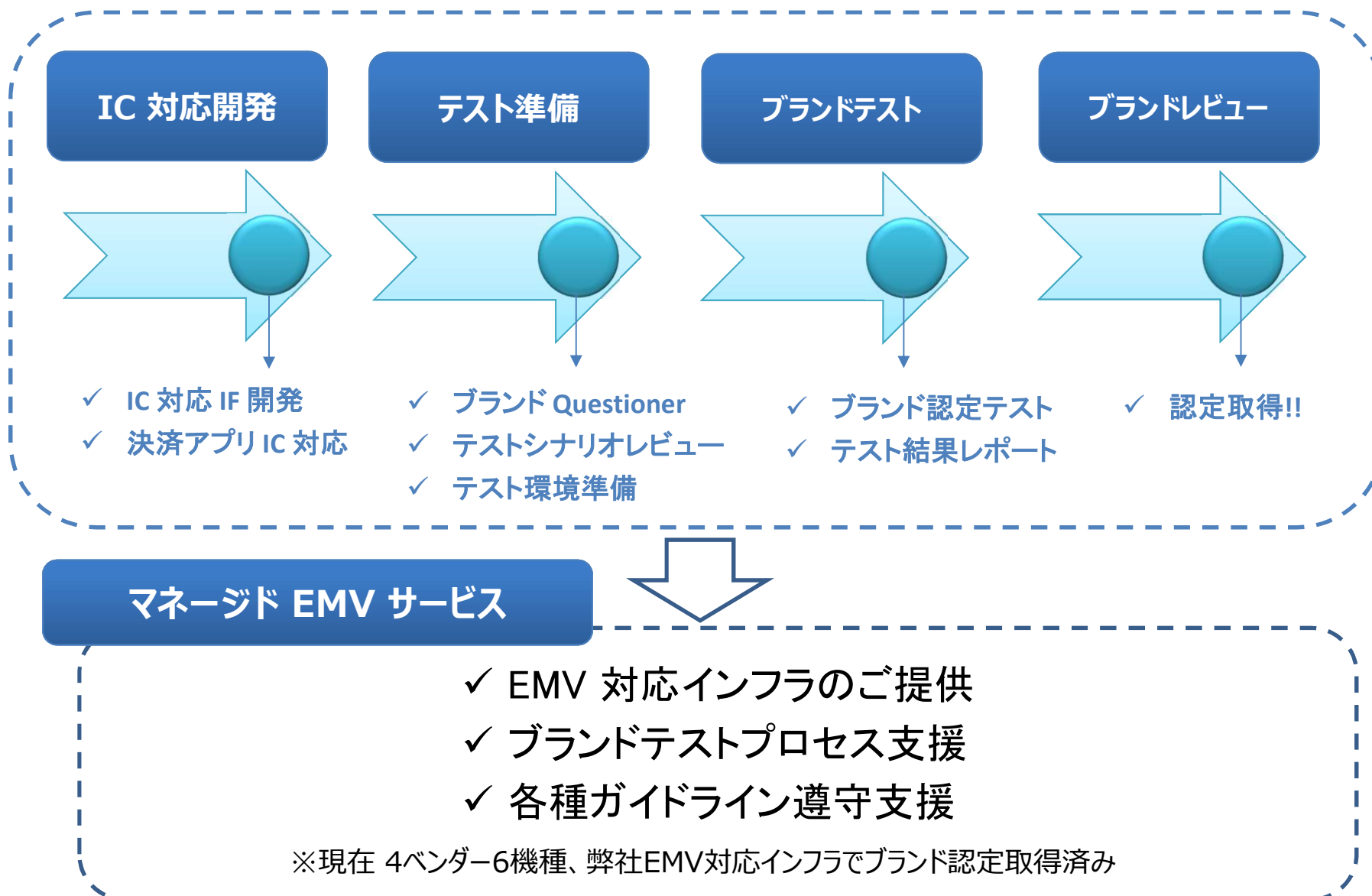
	内容		対面加盟店	EC加盟店
1	カード情報の漏えい対策	加盟店におけるカード情報の非保持化 カード情報保持の場合「PCI-DSS」準拠	2020年 3月末まで	2018年 3月末まで
2	偽装カードによる不正使用対策	クレジットカードの100%IC化 決済端末の100%IC化	2020年 3月末まで	—
3	ECにおける不正使用対策	多面的・重層的な不正使用対策の導入	—	2018年 3月末まで

※2018年6月 改正割販法の施行→義務化

IC化(EMV) ブランド認定テスト



ブランド認定 取得プロセス



PCI P2PE (Point To Point Encryption)



PCIDSSとは

クレジット業界における国際セキュリティ基準

クレジットカード情報および取引情報を保護するために

Visa・Mastercard・JCB・American Express・Discoverの国際ペイメントブランド5社が共同で策定



PAYMENT CARD INDUSTRY SECURITY STANDARDS

Protection of Cardholder Payment Data



Ecosystem of payment devices, applications, infrastructure and users

クレジットカード取引における セキュリティ対策の強化に向けた実行計画 － 2018 －

(2) 対面加盟店におけるカード情報の非保持化について

対面加盟店におけるカード情報の非保持化の推進は、特に POS システムを導入している加盟店において課題となる。カード情報を電磁的情報で自社内に「通過」させないよう、POS の機能と決済機能を分離すること、IC 対応した決済専用端末からカード情報を電磁的情報で自社内に取り込まない外回り方式(決済専用端末連動型・ASP/クラウド接続型(外回り方式))を導入することにより、カード情報の非保持化を実現することが可能となる。また、カード番号を特定できない状態とし、自社内で復号できない仕組みとすれば、仮に窃取されてもカード情報として不正に利用することは極めて困難であるため、**PCI P2PE** 認定ソリューションの導入又は本協議会において取りまとめた技術要件に適合するセキュリティ基準(11項目)⁹を満たすことにより、非保持と同等/相当のセキュリティ措置を実現することが可能となる(この場合には、PCI DSS 準拠までは求めないこととする)。

ただし、カード会社や ASP/クラウドセンター等を運営する事業者より、カード情報の還元を受け自社で保有する機器・ネットワークにおいて「保存」、「処理」、「通過」している場合(決済以外の目的の場合も含む)には、カード情報を保持している扱いとなる。

2018年3月1日

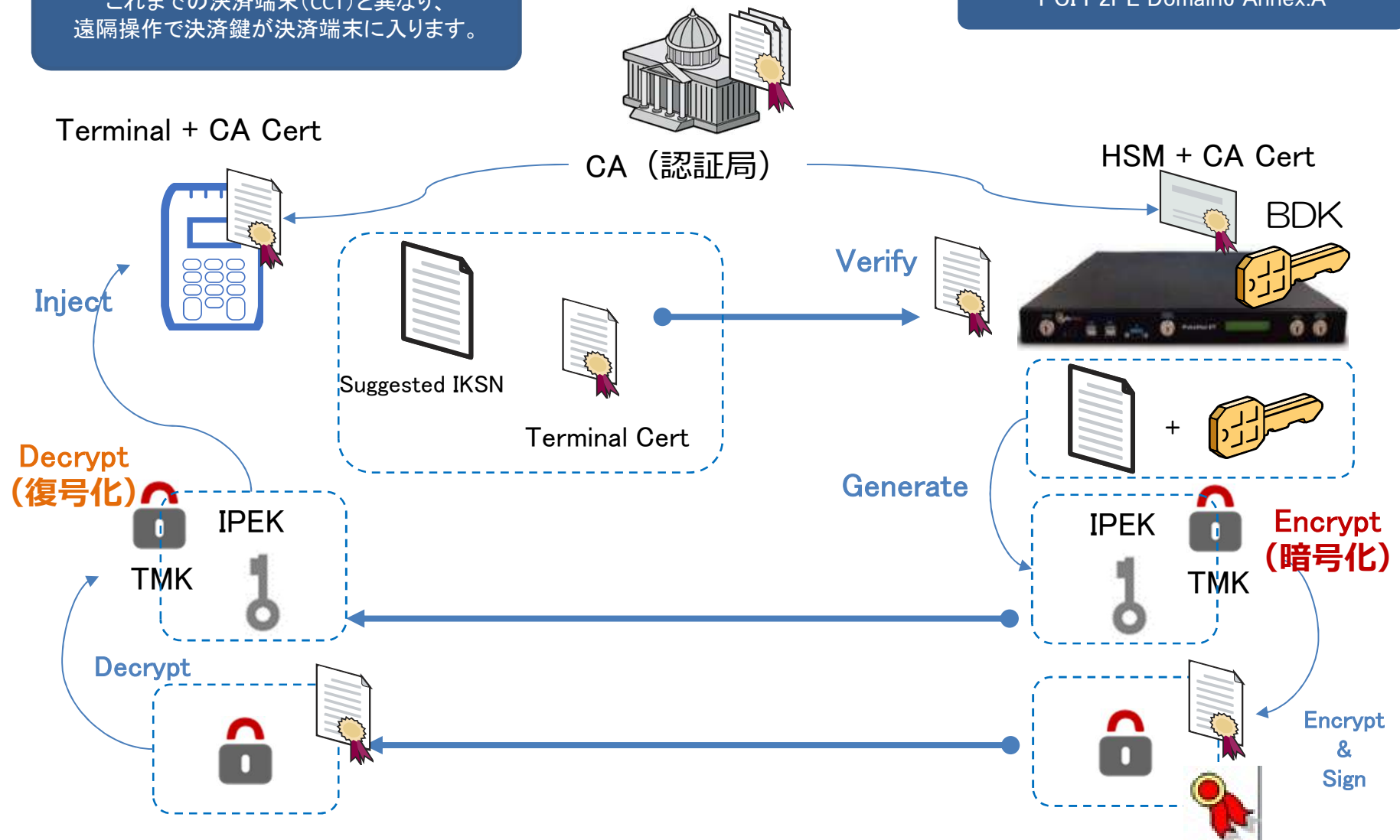
クレジットカード取引セキュリティ対策協議会

Remote Key Injection



これまでの決済端末(CCT)と異なり、
遠隔操作で決済鍵が決済端末に入ります。

PCI P2PE Domain6 Annex.A



スマートフォンを活用したクレジットカード決済



© 2018 Miura Systems Ltd.

【対面】クレジットカード決済ソリューション



SaT ポケレジ

スマートフォンとEMV(IC)カードリーダーを
Bluetoothによるワイヤレス接続でクレジットカード
決済端末としてご利用いただけます。



■対応カードブランド:



■対応OS: iOS、Android(端末要確認)、Windows (2018年秋対応予定)





M006



接触EMV対応

M010F



接触・非接触EMV対応
NFC: TypeA, TypeB, TypeF 対応

MIURA Systems 社製品

- グローバルで150万台、日本国内にて数万台規模の導入実績
- EMVレベル1、レベル2準拠, PCI-PTS v3 (SRED 含む) 認定取得
- 暗号管理方式は、DUKPTを採用
- PCI P2PE Domain6 ANNEX-A に則したセキュアなりモート鍵配布でキittingや配送コストが削減
- ネットムーブ決済センターにおいてターミナル管理スキーム(TMS)を実装

URLスキーム連携 イメージ図



① POS操作後に
決済アプリをコール



POSアプリ
(業務アプリ)

② 決済アプリに必要情報を
カスタムURLスキームで
パラメータ渡し

決済金額、ソースアプリ名 (クエリ)

操作結果、印字情報 (クエリ)

③ ポケレジによる決済処理



ポケレジ

⑤ レシート印字等

④ 操作結果とレシート印字情報を
ソースアプリにコールバック

ご清聴ありがとうございました。

本講演正式版資料データサイズが大きいため
ご希望の方は
下記メールアドレスまでご連絡下さい。

ダウンロードURLをご案内いたします。

メールアドレス: npy@netmove.co.jp

ポケレジ担当電話番号: 03-6256-9628

